

## 令和6年度被保険者証一斉更新及び資格確認書等の運用について

令和6年秋に予定されているマイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴う、令和6年度被保険者証一斉更新及び資格確認書等の運用について報告する。

### 1 概要

#### ■被保険者証の廃止と資格確認書の仕組みの整備（法改正の概要）

- ・被保険者証を廃止するとともに、マイナンバーカードによりオンライン資格確認を受けることができない状況にある者が必要な保険診療等を受けられるよう、当該者からの求めに応じ、後期高齢者医療広域連合は、医療機関等を受診する際の資格確認のための「資格確認書」を、書面又は電磁的方法により提供することとする。
- ・発行済みの被保険者証は、改正法施行後1年間（先に有効期間の末日が到来する場合は有効期間まで）有効とみなす経過措置を設ける。

#### ■施行期日

公布の日（令和5年6月9日）から1年6月以内の政令で定める日

### 2 国における検討状況

【「マイナンバーカードと健康保険証の一体化に関する検討会 最終とりまとめ（令和5年8月8日）」から抜粋】

#### （1）今後発行する被保険者証の有効期間に関すること

- ・具体的な施行時期は今後決定されるが、施行時期と経過措置を踏まえ、今後発行する被保険者証の有効期間等について、国民健康保険等の保険者に適切に対応いただく。

#### （2）資格確認書等に関すること

- ・当分の間、マイナ保険証を保有していない者については、申請によらず交付する。
- ・資格確認書の有効期間は、5年以内で、各保険者が設定することとする。
- ・資格確認書の様式については、既存のシステムを最大限に活かすため、サイズは、①カード型、②はがき型、③A4型の3種類とし、各保険者が選択することとし、材質は、紙やプラスチックとする。
- ・マイナ保険証の保有者がご自身の被保険者資格等を簡易に把握できるよう、新規資格取得時や負担割合の変更時等に、氏名、被保険者等記号・番号・枝番、保険者番号・保険者名、負担割合等を記載した資格情報のお知らせを交付する。

※国における検討状況の詳細は、別紙「社会保障審議会医療保険部会資料（抜粋）」を参照

### 3 広域連合における検討事項

現時点での国における検討状況を踏まえ、以下の事項については広域連合において決定する必要があると想定される。そのため、市区町村への調査結果及び資格部会での検討結果を総合的に鑑みて、運用を決定する予定である。

- (1) 令和6年度一斉更新以降に交付する被保険者証の有効期間
- (2) 資格確認書の仕様（有効期間・サイズ・色）
- (3) 資格確認書及び資格情報のお知らせの郵送方法

### 4 今後のスケジュール（予定）

「市区町村への調査結果」「資格部会での検討結果」を踏まえた、令和6年度被保険者証一斉更新及び資格確認書等の運用については、以下のスケジュールで報告する。

令和6年1月上旬	課長会において報告
1月12日 1月16日	協議会幹事会・協議会において報告
1月17日 1月18日	広域連合議会 議案説明会において報告
2月中旬	広域連合運営会議において報告

### 5 令和5年度の周知広報（予定）

以下の方法により、マイナンバーカードを被保険者証として利用するメリット等について被保険者等に周知広報する。

- ・広報紙「東京いきいき通信(令和6年3月号)」への掲載
- ・ホームページ「東京いきいきネット」への掲載
- ・国の作成したひな型を基に作成したリーフレットを市区町村の後期高齢者医療制度担当窓口等において配布(令和5年7月時点で予定していた内容から一部変更)